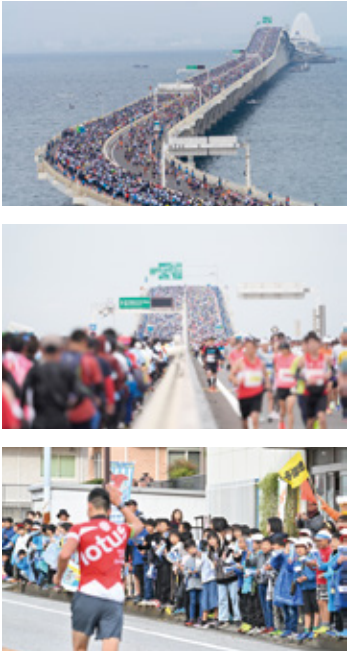


海を走ろう
～アクアラインの風に乗って～
ちばアクアラインマラソン2026
来年11月8日（日）に開催！



- ▶開催日時 令和8年11月8日（日）9時40分～16時
- ▶種目・定員・料金

種目	定員	参加料金
マラソン	12,000人	16,500円
ハーフマラソン	両種目合わせて5,000人 （車いすハーフマラソンは10人程度）	13,500円
車いすハーフマラソン		

- ▶参加受付 令和8年3月中旬以降を予定
- ※募集要項は令和8年2月頃にホームページへ掲載予定です。

問 ちばアクアラインマラソン実行委員会事務局
☎043-223-4107



千葉のコレ知ってる？

131 海を守り、地域を照らす野島埼灯台



再点灯から100年

皆さんは11月1日が何の日かご存じですか？江戸末期から明治にかけて行われた洋式灯台の建設に着手した日にちなんだ「灯台記念日」です。海運と貿易の発展のために日本で最初に造られた洋式灯台は全国各地に8つ。このうちの一つが房総半島の最南端に立つ野島埼灯台で、1869（明治2）年にフランス人技師の設計により建設されました。1923（大正12）年に関東大震災で倒壊しましたが、その2年後の1925（大正14）年に再建・再点灯してから今年で100年目を迎えました。白く美しい八角形のその姿は「白鳥の灯台」とも呼ばれ、国の登録有形文化財に登録されています。



灯台にのぼってみよう！

全国に灯台は3,000基以上ありますが、“のぼれる灯台”はたった16基。野島埼灯台はそのうちの貴重な1基です。その高さは29メートル。のぼりきったあとに見ることができる大パノラマは圧巻です。また、併設されている灯台資料展示室「きらりん館」では、灯台の歴史や写真、強い光を出すために使われる大型フレネルレンズなど、さまざまな貴重な展示を見ることができます。



現在、再点灯100周年を記念して、野島埼灯台や県内のもう一つの“のぼれる灯台”犬吠埼灯台（銚子市）など関東近郊の灯台を巡るデジタルスタンプラリーを開催中です。

ぜひ灯台を巡って、それぞれの歴史に触れてみませんか？



問（一社）南房総市観光協会 ☎0470-28-5307

アートでつながる ドイツ×千葉県

県では、姉妹都市であるドイツ・デュッセルドルフ市との文化交流の一環として、昨年度からアーティスト交換を行っており、昨年は千葉県出身のアーティストをドイツに派遣しました。今年はドイツからアーティストが来日。10月～12月中旬まで本県に滞在し、県立美術館で制作に取り組みます。



Untitled（2025年制作）

滞在アーティスト クリストフ・ヴィーデマン Christoph Wiedemann 氏 1994年生まれ（31歳）

ドイツ・ミュンヘン出身、デュッセルドルフ在住。写真やドローイング作品※を主に制作し、ドイツ国内で個展やグループ展を多数開催しています。今回が初の来日です。※ペンや鉛筆、木炭などの画材を用い、線や筆致で描かれた作品

滞在中に制作した作品をお披露目！
成果展を開催します

- ▶日時 12月3日（水）～14日（日）
9時～16時30分
- ▶休館日 12月8日（月） ▶料金 無料

成果展開催中には交流イベントも

アーティストトーク 12月3日（水）14時～15時
ワークショップ 12月7日（日）13時30分～15時
※各イベントの内容や申し込み方法など、詳しくはホームページをご覧ください。



Untitled（2025年制作）



Untitled（2025年制作）

問 県立美術館（JR千葉みなと駅から徒歩10分）☎043-242-8311